

主な内容：大学10周年／ブラックモアと興望館／学院宣教師一覧

## 大学10周年を迎えて

学長 塚本 哲也

今日11月3日、菊かおる文化の日、東洋英和女学院大学は創立10周年を迎え、記念式典を挙げてまいりました。これをこのころからお慶び申し上げます。また、今日はお忙しい中、遠路はるばる亀徳理事長をはじめ、横浜市や近隣の方々等内外の方々にこの式典にご出席いただきまして、厚く御礼申し上げます。

東洋英和女学院大学は1989年4月、この横浜の緑区に誕生いたしました。すでに短期大学がその三年前に六本木からこの地に移転しておりましたが、その頃、100年の歴史を誇る東洋英和女学院にも四年制大学をという声が起こり、成蹊大学長として学校行政にも手腕を発揮し、教育者としても声望の高い朝倉孝吉先生を準備委員長に迎え、用意周到な準備期間と言葉に尽くせない努力のあと発足いたしました。朝倉先生は、日本銀行、経済企画庁、国連、成蹊大学という経歴から内外に幅広い人脈を持ち、業績の高い立派な学者先生を招き、一年目からたちまち偏差値の高い一流の古い女子大学と並ぶ大学に仕立て上げました。最初は人文学部に人間科学科、社会科学科の一学部二学科、定員200名でありましたが、総計200名の臨時定員増を行い、1995年には人間科学科と社会科学科の二つの学科に改組、さらに1997年は人間科学部に人間福祉学科の増設と定員増

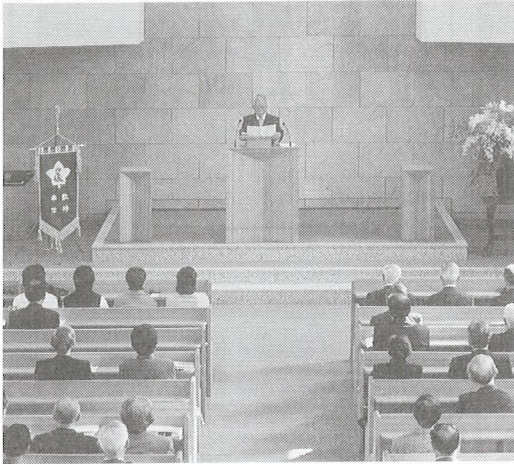


をし、翌98年には短大を廃し、現在は学生数2,651人を擁する大学となり、高い評価を得ております。

また1993年には六本木校地に夜間の大学院を開設いたしました。いまでこそ多くの大学が社会人のための夜間大学院を開設しておりますが、本大学院はそのパイオニアであり、文部省からも最も成功した例との評価を得ております。また1997年には生涯学習センターを設置し、昼間の社会人大学、語学、音楽、教養、スポーツの講座を開催し、年々参加は横浜市民を中心に二倍增の勢いで増え、このキャンパスには若い学生に交じって社会人の姿が見られるようになりました。横浜市当局によりますと、本学ほど本格的に生涯教育に取り組んでいる学校はないと

いうことであり、地域社会との交流を深めつつあります。

また昨年の1998年には障害者も利用できるまことに近代的な温水プールを備えたアクア・エクササイズ・センターが完成し、近隣の人たちの利用も増えておりますし、本年7月には明るくて機能的な図書館が完成し、毎日800人の学生が利用し、他の大学



からも見学に来るほど、評判になっております。今日はどうかこの新しい施設をご見学いただければ幸いです。

このような名実共に立派な大学を創立するのに多大な貢献をされた前学長朝倉孝吉先生をはじめ、逸見謙三前社会科学部長、小林政吉元人間科学部長、那須米郎前事務部長の諸先輩には大学として心から感謝を表したいと思っております。

本大学が創立された1989年は「ベルリンの壁」が崩壊し、東ヨーロッパの社会主義政権が次々と市民革命で倒れ、東西冷戦が終結した歴史に残る年であります。いま朝倉先生が書かれた一号館の礎石の1989年という字を見ると、私はいつも感無量になるのであります。十年一昔と言うが、この激動の時代を振り返りますと、この十年の密度の濃さ、テンポの早さは、二、三十年に値します。そして間もなく21世紀になろうとしております。時の流れはハード

からソフトへと移り変わりつつあります。大学においても例外ではありません。これからは前にも増して内容の充実、質の向上をはからなければなりません。

日本の社会、特に大学をめぐる環境の変化は、少子化に伴う入学志願者の減少によって、急激に変わりつつあります。大学は今厳しい冬の時代に入っています。この危機を乗り切れるか否か、まさに存亡の時に立っております。本学はこの未曾有の経済不況の時にもかかわらず、高い就職率を誇り、11月現在も78%卒業予定者が一流企業にも内定しておりますが、これも115年の東洋英和の伝統と歴史の恩恵をこうむっていることは言うまでもありません。大学にはスクール・バスなどまだまだ片づけるべき問題が山積しております。

諸先輩が営々として築き上げてきた立派な伝統を受け継ぎ、さらに発展させるためには大学は教職員一同、心を引き締め、一層の奮励努力をしなければなりません。

十周年式典に当たり、このことを深く心に誓っております。

以上をもってご挨拶に代えます。来賓の皆様にはご出席、まことにありがとうございました。



パネルディスカッション

# 大学創立10周年の記念行事

(大学企画行事)

1. 記念式典・祝賀会 1999年11月3日(水)午前
2. パネルディスカッション 同日13:00~15:00  
主題:「新世紀と女子大生」於5号館5102教室  
パネラー:宇澤弘文(日本学士院会員)／柏木  
恵子(白百合女子大学教授)／見市紀世子  
(大学院社会科学部研究科)／芝生かおり  
(人間科学部人間科学科)／秋山理沙(社  
会科学部社会科学科)／石川涼子(人間科  
学部人間科学科)／宮崎正康(司会)
3. ホームカミング 同日15:00~17:00  
大学卒業生・大学院修了生と教職員・在学生を  
対象。於中央館食堂

(学生企画行事) 主催:清楓会 協賛:大学

1. 「こども広場」於9号館 9110教室と周辺。  
かえで祭に来校して諸行事に参加する母親から  
子供を預かって遊ばせる活動。
2. 「10周年記念音楽会」

11月27日(土) 13:00~15:00

於新マーガレットクレイグ記念講堂

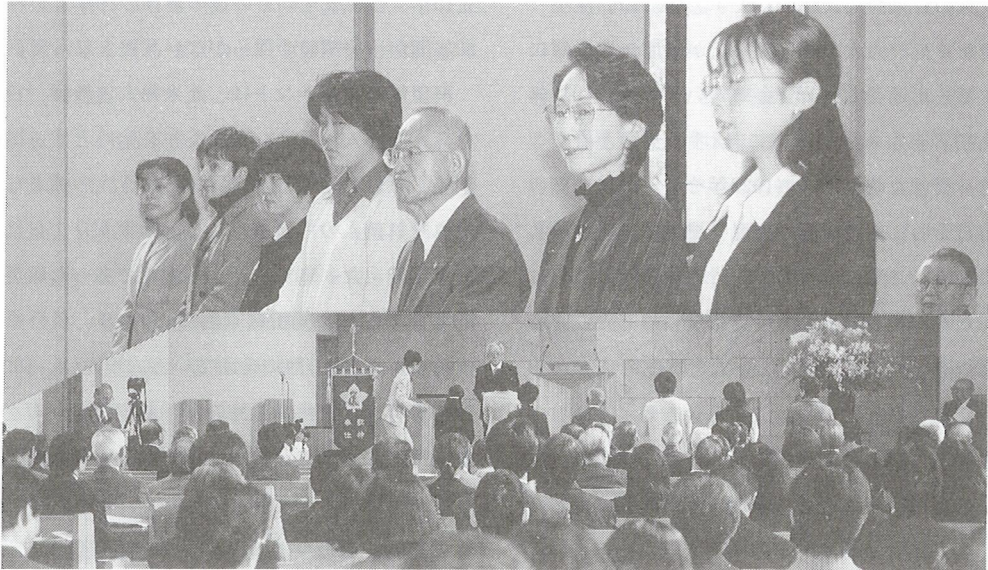
出演団体:大学・中高部・小学部及び同窓会の

音楽団体

3. 「お茶会」音楽会終了後、於中高部集会室

(募集関係) 募集期間:7月7日~9月30日

1. 「記念懸賞論文」テーマ:「新世紀と女子大生」  
優秀賞 見市紀世子(S99005)  
佳作 石川涼子(W99006)  
佳作 秋山理沙(S98007)
2. 「読書感想文」  
優秀賞 西迫律子(H98222)  
「日本とドイツの比較及び私たちの課題」  
佳作 田中陽子(生涯学習センター)  
「家族の一員」を読んで(M. スパーク著)  
佳作 小川宣二(生涯学習センター)  
「忘れられた日本人」(宮本常一著)
3. 「記念オリジナル・デザイン」  
優秀賞 平野かほり(H98247)
4. 「学生歌」該当者なし



入選者賞状授与式

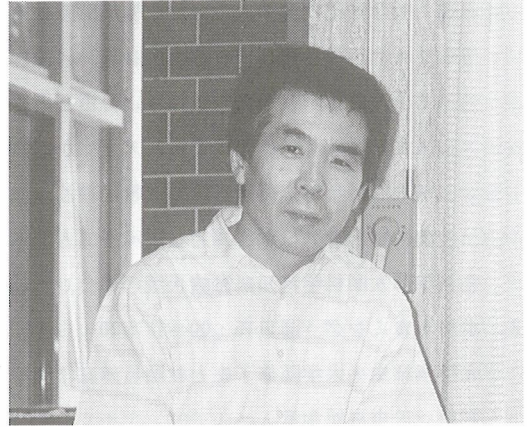
# イザベル・ブラックモア女史と興望館

興望館・館長 野原健治

1939年1月28日、東京女子大学教師館ライシャワー氏宅で、興望館創立20周年記念会が開かれた。20年間の歴史と創立当時の思い出が出席者によって語られ、ヘレン・シドウェル・ライシャワー氏（元米国駐日大使エドウィン・ライシャワー氏のお母様）はそのスピーチの中で、ブラックモア女史について次のように述べた。「(前略) 興望館の仕事を2期に分かつことができますと思います。はじめの10年は創立の時代、次の10年は進捗時代、(中略)、今私の心眼に映る方々がたくさんありますが、一番深い尊敬と感謝とを以て想い起こしますのは、東洋英和女学校のミス・ブラックモアであります。氏は幾度か資金難に当たって豊かでない私財を或いは融通し、或いは寄附して助けられたばかりではなく、誠心誠意此の事業に全力を注がれ、若い者を激励して尽くされたのであります。今一つ館が負う所の絶大な方に現主監の吉見静江氏があります。(後略)」注①

ライシャワー夫人がここで「氏が幾度か資金難に当たって」と述べている資金難というのは、1919年創立当初の東京本所松倉町に312坪の土地と借家2軒を借り受けた時のこと。1923年その土地に念願の洋館建設をし、それが春の大嵐で建設途中で倒壊した時のこと、さらに復旧作業を行い同年8月31日に完成したが、翌日関東大震災で灰燼に帰したこと、そしてあきらめることなく再びその復旧に立ち上がったことをさしている。

震災復旧に関連して区画整理が行われ、本所松倉（現在の墨田区東駒形）の敷地一部がそれに重なったため、向島寺島町（現在の墨田区京島）に1928年秋に移転した。1929年米国留学を終えた吉見静江氏



が館長に就任し、同年11月16日念願の緑の屋根とクリーム色の壁の洋館が完成した。

ブラックモア先生は、興望館創立の準備の期間、創立から6年間の最も困難な時期に携わられ、その後吉見静江館長が、セツルメント事業に信仰と献身と専門性をもって働かれた。ブラックモア先生の創立10年、吉見先生のその後の進捗の10年というこの20年間は、興望館の揺らがない基礎となった。

興望館セツルメントは、北米婦人宣教師、日本キリスト教婦人矯風会、東洋英和を始めとする関連諸学校、職員、地域社会、行政という人の輪となって、それぞれ個人の内面に定着し、99年5月1日創立80周年を迎えた。創立当初10名程度であった職員は、50名程になり、墨田区京島に1,000坪、長野県軽井沢町に3,000坪の敷地をえている。現在は、160名定員の保育園、児童厚生施設（70名定員の学童クラブ、約100名の書道会、健康クラブ、お食事会等の年輩者プログラム、150名程のピアノ、教科、野球チーム、茶道、書道などの教室活動、国際交流、ボランティア育成事業など）、30名定員の養護施設、若者

の生活支援を目的とした6名定員の自立援助ホームという複合施設を運営している。地域福祉の必要性がいわれている現代にあって、その歴史的資産を明らかにし、多くの方々と分かち合わなければならないと思う。

カナダメソジスト婦人宣教師について調べるために、1991年夏、私は、同僚と共にトロント大学アーカイブスを訪問した。調査の下調べを何から何まで準備して下さったのは、日本で30年以上も献身されたカナダ人宣教師イーニッド・ホーニング先生である。ホーニング先生は、膨大な資料の中からイザベル・ブラックモア女史直筆の興望館と山梨英和に關係する資金要請の手紙を見つけて下さった。「20年遅かったですね。そのころ調査していれば、まだたくさん資料が残っていたはずですし、直接お話しできる人も何人かいたはずです。皆亡くなりました。」

日本の貧しい人々を支え、身を削ってこられた北米宣教師の方々の足跡は、今日の日本社会が忘れてはいけないものはずなのだが、それをたどることのできる資料は、極めて少ない。残念でありまた、お礼を述べることも少なかつたはずで、慙愧に耐えない。

本年99年、80周年を迎えるに際して、吉見静江初代日本人興望館長の活動内容を調べ、まとめる必要が生じた。「吉見静江の興望館における福祉活動、セツルメントの実践記録」作成の任を引き受けて下さったのは、興望館理事瀬川和雄牧師である。瀬川先生の入念な調査資料蒐集の結果、興望館関係婦人宣教師について、大変参考になる資料がいくつか見つかった。この資料をもとに、注①の本文を記述した。

1929年12月号の婦人新報に佐藤まつ子氏が、「外

人部會の努力で、興望館新築成る。11月16日献堂式」という見出しで次のように書いている。「(前略)、その後事業の発展につれて宮内省、内務省、東京府、市等より下附金を受け、またその間横系の如く内外有志の援助も加はり、大正12年、六萬圓を投じ大規模の本會館が出来上がった。いよいよ工事を終了したのが、同年8月31日。翌月9月1日には、彼の大地震災が起こった。天地の大激動と共にそれまでの凡ての努力、凡ての設備は悉く烏有に帰してしまつた。關係者一同の失望は甚大であつた。この建築募金に主力を注がれた東洋英和のミス・ブラックモアが、ただ黙して独り祈りの為に信州の山に入られたのも此時であつた。今でこそ一つの挿話として聞かれもするが、当時多数の關係者がこれと同様の苦悶辛酸の苦杯を底まで呑みほしたのであつた。(後略)」

ブラックモア先生は1925年に帰国しているため、この美しい洋館の完成した姿を見ることはなかつたが、先生のご苦勞はこの献堂式の際にも思い起こされた。

創立20周年記念パンフレットの「成長の二十年」の中にブラックモア先生について次のような言葉がある。「(前略)、預言者の如きビジョンとヨシュアの如き勇氣を以て人々の前進に導きを与え力を添えられた。貧しくて多くを知らず、然も省みられざる人々の魂に光を与える為、彼女の蓄財の大部分である五千八百圓を奉仕の祭壇の前に捧げられた。(後略)」ヨシュアのように興望館本館というカナンの地を見ることはなかつたけれども、その預言者の如きビジョンは吉見静江氏によって確かなものとなり、それが継承され、興望館の最大の宝として生きていくことを報告して筆を置きたい。

# 東洋英和女学院に遣わされた宣教師たち

陶山義雄（『史料室だより』委員）

1884年にM. カートメルによって開かれた東洋英和女学院は115年に亙る歴史の中で、創設者を含めて73名の宣教師が北アメリカの教会から派遣されて東洋英和女学院に勤めている。その中で3名を除いた70名が女性である。その殆どはカナダの婦人伝道協会（Women's Missionary Society）から派遣された婦人宣教師であった。『東洋英和女学院百年史』をはじめ『50年史』、『70年誌』、『楓園史（写真で見る80年）』、『目で見る東洋英和女学院の110年』など既刊の学院史関係の書物や出版物に掲載された学院の宣教師は、ごく一部分に過ぎなかった。

この度、115年を迎えるにあたって史料室だより委員会では全宣教師名を調査し、本年度を締めくくる『史料室だより』に掲載できるように準備を進めて来た。幸い、J. W. クランメル氏が編纂した『来日メソジスト宣教師事典、1873～1993』（1996年、教文館）があったので、これを第1資料とし、学院の歴史関係の文書から第1資料に欠落している人名記録を補完して、史料室だより委員会より陶山義雄が担当してここに完成する事が出来た。委員会で目を通してはいるが、同窓をはじめ学院教職員や関係者の方々に見て頂いて、必要であれば更に改定を加える所存である。また当委員会としては73名の宣教師について教えをうけた同窓生から、体験談や師弟の出会いを通して得た人物評伝の投稿をここに呼びかけたいと思う。『史料室だより』に随時、掲載できるようご協力をお願いしたい。

73名の宣教師一覧を作成して、先ず第1に気付いた事は1年で退任する方々が15名も多くおられる事、2年までを含めれば26名が短期の在職であった

という事実である。気候・風土が合わず、病に倒れて帰られたり、戦争を含めた国際情勢がそのような事態をもたらした事が良く分かる。第2に気付く事実は、カナダ・メソジスト・ミッションと婦人伝道協会（WMS）は宣教師を東洋英和女学院に限定することなく、同じ宣教師が山梨や静岡の英和に転任したり、その他の宣教機関へ分け隔てなく派遣しているという事である。そうした中で、東洋英和に43年間も在職したジュティーン先生をはじめ、38年のブラックモア、30年のハミルトンとD. マクドナルド、20年のクレイグとロージャース、17年のパー、15年のブラウン等の諸宣教師は73名の中でも特に東洋英和女学院を支えて下さった方々である。

東洋英和女学院宣教師 在職年数統計表

在職年	人数	該当者名
43年	1名	ジュティーン
38年	1名	ブラックモア
30年	2名	D. マクドナルド / ハミルトン
20年	2名	クレイグ / ロージャース
17年	1名	パー
15年	1名	ブラウン
14年	2名	ピンセント / マシューソン
13年	1名	サンダース
12年	2名	キャンベル / アレン
11年	3名	ハーグリーヴ / キニー / マンロー
10年	2名	ローク / スペンサー
9年	4名	G. コ克蘭 / ダグラス / ドレーク / スクルートン
8年	3名	レーマン / スコット / ステープルス
7年	3名	コーティス / ロバートソン / ストロサード
6年	2名	S. コ克蘭 / ハード
5年	6名	チャペル / M. コ克蘭 / ジョスト / マッカーサー メガフィン / ティンバレイク
4年	4名	人名省略
3年	7名	人名省略
2年	11名	人名省略
1年	15名	人名省略

東洋英和女学院派遣宣教師一覽

陶山義雄 制作

英文姓名	和文姓名	東洋英和任期	出身地	誕生・没年	派遣教団	備考
Name	Name in Japanese	Period of Term at ToyoEiwa	Birth Place	Born/Death	Mission Board	Besides Toyo Eiwa
Alcorn, Elizabeth H.	アルコーン	1896-1897	NBR	18??-1921	MCC/WMS	静岡英和1897-1902/山梨英和03-16
Alexander, Eva	アレクサンダー	1892-1893	ONT		MMC/WMS	山梨英和: 1893-95
Allen, Annie W.	アレク	1905-1917	Que	1878/1973	MMC/WMS	山梨英和: 1910-14, 他
Barr, Luli	バー	1920-1937	ONT	1890/	MMC/WMS	山梨英和1927-33
Beatty, Rose V.	ベアティ	1907-1908	ONT	/1949	MMC/WMS	上田1908-1912
Belton, Alice E.	ベルトン	1894-1896	ONT	1867-1904	MMC/WMS	静岡英和1896-97/青山墓地
Blackmore, Isabella S.	ブラックモア	1895-1923	NSC	1863-1942	MMC/WMS	山梨1892-94, 他1918-25
Brown, Merril Elizabeth	ブラウン	1957-60/1984-96	MAN	1931.....	UCC/WMS	山梨英和1952-55/静岡英和1960-80
Campbell, Edith	キャンペル	1909-1921	ONT	1879/	MCC/WMS	山梨英和/東京女子大
Carmell, Martha J.	カトメル	1884-1887	ONT	1845-1945	MCC/WMS	山梨英和1894-1896
Chapman, Mary A.	チャップマン	1909-1910	ONT		MMC/WMS	
Chappell, C. Spencer	チャペル	1912-1917	ONT	18911-1989	MMC/WMS	山梨英和/東京女子大
Cochran, George	コクラン	1884-1893	ONT	1834-1901	MMC/GBM	
Cochran, Maude	コクラン	1885-1890	ONT	1868.....	MCC	東洋英和〔男子〕校
Cochran, Susan	コクラン	1884-1890	ONT	1861.....	MCC/IND	
Courtie, Sybil R.	コートイス	1913-17/1946-49	ONT	1884-1980	MMC/WMS	静岡英和/山梨英和
Craig, Margaret	クレイグ	1902-1922	QUE	-1923	MCC/WMS	
Crombie, Elizabeth M.	クロンビー	1893-1894			MCC/WMS	上田, 静岡英和
DeWolfe, Henrietta E.	デヴォルフ	1904-1905	NSC	1873-1959	MCC/WMS	上田, 静岡英和
Douglas, M. Leona	ダグラス	1930-31/1947-55	ONT	1897-1977	UCC/WMS	静岡英和/山梨英和
Drake, Ida, Kaatharine	ドレーク	1919-1928	ONT	1878.....	MCC/WMS	上田, 静岡英和
Fujimori, John, M.	フジモリ	1978-1979	CA., USA	1953.....	UMC	明治学院
Fullerton, Maarie S.	フルートン	1923-1927	NSC		MCC/WMS	
Govenlock, Isabel	ゴヴェンロック	1913-1914	ONT	1883-1974	MCC/WMS	上田, 静岡英和
Haig, Mary Tennant	ハイグ	1927-1928	ONT	1892-1933	UCC/WMS	山梨英和, 長野, 金沢
Hamilton, Frances G.	ハミルトン	1917-42/1951-56	PEI	1888-1975	MCC/WMS	山梨英和
Hargrave, Isabella M.	ハーグリーブ	1903-1914	MAN	1862-1958	MCC/WMS	静岡英和, 金沢, 長野, 山梨英和
Harper, Ruth A.	ハーパー	1917-1919		1892-1928	MCC/WMS	山梨英和, 上田, 青山墓地埋葬
Hart, Charlotte E.	ハート	1889-1892	NSC	1867-1932	MCC/WMS	
Hart, Nellie Goa	ハート	1889-1894	ONT	1863-1940	MCC/WMS	静岡英和, 上田
Hetherington, Mary	ヘザリントン	1869-1973	MN	1911.....	UMC/WMS	
Howie, Jessie Laurina	ハウイー	1897-1899	NFO	1872-1954	MCC/WMS	金沢1902-13
Hurd, Helen R.	ハード	1924-1930	ONT	1886-1984	MCC/WMS	山梨英和, 上田
Jost, Eleanor Elizabeth	ジョスト	1932-1937	NSC	1900-1980	UCC/WMS	榎井, 静岡英和
Jost, Harriet Joanna	ジョスト	1898-1899	NBR	1868-1953	MCC/WMS	金沢, 青山学院

	1954-1997	MN,USA	1927------	EUB/BOM	
Juten, Shirley Mae	ジュテューン				
Keagey, Margaret D.	キーギー	ONT	1880-1953	MCC/WMS	山梨英和,浜松
Killam, Ada	キラム	ONT	1875-1970	MCC/WMS	山梨英和,富士,上田,福井
Kinney, Jane Mattida	キニー	NBR	1877-1965	MCC/WMS	山梨英和,静岡英和
Kuecklich, Gertrud	キエウツクリヒ	Stuttgart	1897-1976		東京保育女子学院, 長野
Leambly, Marion K.	ランブリー	ONT		MCC/WMS	
Large, Thomas A.	ラージ	ONT	1859-89 4/5	MCC	青山墓地
Ledgard, Ella	レデイアード	ONT	1883-1966	MCC/WMS	上田,長野,金沢
Lehman, Lois A.	レマン	Edwards	1897-1977	UCC/WMS	静岡英和
Lund, Haannah	ランド	ONT	1862-1894	MCC/WMS	静岡英和
MacArthur, Katharine	マッカーサー	ONT	1891-1955	MCC/WMS	
MacDonald, Davidson	マクドナルド	ONT	1836-1905	MCC/GBM	静岡英和
Matthewson, Mildred	マシューソン	ONT	1908-1986	UCC/WMS	山梨英和
McLeod, Anna Olivia	マクロード	NBR	1908-1986	MCC/WMS	金沢,静岡英和,長野
Meath, Aurelia O.	ミース	NY	1875-1959	UCC/WMS	
Megaffin, Blanche L.	メガフィン	MAN		MCC/WMS	
Munro, Jessie Knox	マンロー	ONT	1861-1923	MCC/WMS	
Norman, William H.	ノーマン	ONT	1905-1987	UCC	金沢,神戸,関西学院
Pinsent, Annie M.	ピンセント	NFO	1873-1943	MCC/WMS	金沢,静岡英和
Preston, Emeline	プレストン	ONT	1866-1943	MCC/WMS	山梨英和
Robertson, Mary Ada	ロバートソン	NBR	1861-1950	MCC/WMS	静岡英和,山梨英和
Rogers, Daphney, M.	ロージャヤース	ONT	1930-.....	UCC/WMS	静岡英和1962-64/山梨英和1965-75
Rorke, Luella May	ローク	ONT	1893-1983	MCC/WMS	長野,静岡,山梨英和,東京女子大
Ryan, Esther L.	ライアン	QUE	1884-1986	MCC/WMS	山梨英和,富士,上田,福井
Saunders, Violet Alice	サンダース	BCO	1889-1980	UCC/WMS	山梨英和,福井,静岡英和
Scott, Mary Cordelia	スコット	ONT	1883-1980	MCC/WMS	長野,甲府,富士,福井
Scruton, Muriel Fern	スクルートン	ONT	1899-1980	UCC/WMS	山梨英和/静岡英和,上田, 長野
Spencer, Eliza Jane	スペンサー	ONT	18??-1933	MCC/WMS	
Staples, Maria Melissa	ステーブルズ	ONT	1889-1968	MCC/WMS	甲府,長野,静岡英和
Strothard, Alice Olivia	ストロサード	NSC	1884-1956	MCC/WMS	山梨英和/静岡英和
Tait, Sandie Olivia	テイト	ONT	1892-1953	UCC/WMS	金沢
Taylor, Grace Elgin	テイラー		1908------	UCC/WMS	
Timberlake, Alice Eliza	ティンバーレイク	ONT		MCC/WMS	静岡英和
Tweedie, E. Gertrude	トウイーディー	NBR	1876-1958	MCC/WMS	静岡英和,甲府,上田
Veazey, Myra Abbie	ヴィージー	NBR	1863-1949	MCC/WMS	金沢,静岡英和
Washington, E. E.	ワシントン	QUE	1871-1959	MCC/WMS	山梨英和
Wigle, Laura A.	ウィーグル	ONT	1871-19??	MCC/WMS	静岡英和,長野
Wintemute, Sarah A.	ウィンテミュート	ONT	1864-1945/6	MCC/WMS	山梨英和創設者・校長